

# 活動記録簿

会派・議員名

藤田茉莉

年 月 日	2023年7月8日			
	6月議会一般質問報告ピラ			
配 布 地 域	私市8丁目・私市山手			
目的・内容・結果等	6月議会で取り上げた介護認定の問題や、地域の外出支援と公共交通について、特に私市山手地域の現状と改善についての質問報告を地域限定で配布した。			
活動に要した経費	行 先	利用交通機関	利用区間	金 額
				円
				円
				円
				円
				円
	小 計			円
	経費内容	金 額	内 訳	
	ラクスル印刷	9,929円	1,100部印刷	
		円		
		円		
		円		
		円		
		円		
小 計			9,929円	
合 計			9,929円	
備 考				

領収書



藤田 菜里様

取引年月日：2023年07月08日(土)

領収書番号：R-230706835899

ラクスル株式会社

下記正に領収いたしました。

〒1410021 東京都品川区上大崎2-24-9 アイケイビル1F

合計金額 (税込) **9,929円**

登録番号：T9010401089631

10%対象 9,929円 (内消費税: 903円)

注文番号	商品	数量	金額	備考
230706835899-01	チラシ・フライヤー / A4 / 両面カラー / 光沢紙(コート) / 薄手 : 73kg	1,100部	9,026円	出荷予定日: 2023年7月8日 議会報告 (地域ビラ)

「\*」は軽減税率対象であることを示します。

注文内容	商品合計: 9,026円
小計 (税抜)	9,026円
合計金額 (税込)	9,929円

お支払い方法: クレジットカード

お客さまへ (必ずご確認ください)

本書面についてご不明点などございましたらお問合せフォーム (<https://raksul.com/contact/>) からご連絡ください。

# 6月議会

日本共産党 一般質問

## 実態にあった要介護認定に改善を

〈要介護度〉

- 要支援1
- 要支援2
- 要介護1
- 要介護2
- 要介護3
- 要介護4
- 要介護5



交野市の65歳以上人口約2万1900人のうち、2割弱の約4100人が要介護認定（要支援・要介護）を受けています（令和4年3月現在）。

このうち、軽めの要支援（1・2）に認定される割合が38%となっています。北河内各市と比較して、要支援の割合は交野市が最も高い状況です。（下表参照）

要介護認定者のうち「要支援（1・2）」の割合

交野市	38%
寝屋川市	30%
大東市	23%
枚方市	33%
くすのき広域連合（門真市・守口市・四條畷市）	23%

交野市は介護の認定が厳しいのでは？

また、認定に納得できない・必要なサービスが受けられない・状態の変化などの理由で、認定の区分変更申請を行う件数が、要介護認定申請数全体の約19%にも及んでいます。

日本共産党は、特に末期がんの患者が病状急変時に必要なサービスが間に合わなかった事例もあることから、末期がんや老々介護、認知症などの場合、実態や必要性にみあった介護認定になるよう改善を求めました。

市は、「末期がん等の人への適切な対応について、認定

日本共産党は、市民からの声として「枚方から引越してきたら要介護から要支援に下がった」「更新時に要介護から要支援になり使えるサービスが減った。老々介護で共倒れになりそう」などの実態があることを紹介し、市の対応を質問しました。

市は、「全国一律の基準で客観的に判定している。介護予防活動の成果で、比較的に元氣な高齢者が多い」と答弁。

介護保険料の引き下げを  
日本共産党は、あわせて、来年度からの第9期計画では、11億円もある介護給付費準備基金を活用し、介護保険料の思い切った引き下げを行うことを求めました。

介護に関するご相談、ご要望など、お気軽に日本共産党議員団までお寄せください。



# かたの民報

2023年6月30日

NO. 1779

【発行】  
日本共産党  
市会議員団

ご相談は市役所  
議員団控室へ

私部 1-1-1  
892-0121  
(内線 301)



ホームページQRコード



さらがい ふみ  
星田 7-44-21  
894-2835



藤田 まり  
私部 6-17-1-209  
397-3027



北尾 まなぶ  
倉治 7-8-7  
893-3163

審査会委員とも改めて情報共有を行った。適切な要介護認定の実施に努める」と答弁しました。

## 6月議会一般質問



# 藤田まりは、 地域の外出支援と公共交通について 「私市山手地域の現状と改善」 を質問しました。

### 【市の現状の課題認識は？】

**質問**：私市山手の地域はほとんどが坂道となっているため、高齢化の進む地域の中で「以前は、ゆうゆうバスで私市駅まで行き、そこから電車で病院へ行っていたが、ゆうゆうバスが廃止されて自力で坂道を下って、駅に行くことも難しく、病院へ行くことさえ困難になってしまった」など、病院や買い物という人として当たり前の日常生活に支障をきたしているという声が多く寄せられている。市として、私市山手の現状と、生活の足の確保という点についての課題をどう認識しているのか伺う。

**答弁**：私市山手地域は、私市駅があり、一般的には利便性の高い地域であるが、山手地域という地域性もあり、そのほとんどが坂道を有しているため、高齢の方などの徒歩での移動には負担の大きい地域であると認識している。ただし、私市駅から300mの範囲であっても地域の半分がカバーされ、さらに500mの範囲内ではほぼ全ての地域がカバーされる地域と認識している。

一般質問の全ては、交野市議会HPから動画でも確認できます。



**質問**：地域の声を聞いていますと、ゆうゆうバスが廃止されました今、河内磐船駅周辺の関西スーパー・ゆうゆうセンター・医療ビルに行くことも困難となっている方が大勢いる。みなさんの願いは、「とにかく病院・買い物・ゆうゆうセンターに行くための移動手段を確保してほしい」という切実なもの。また「ICカードの補助があってもバスもない。電車に乗りたくてもそこに行けないのに、外出支援になっていない。」という声も聞かれています。市はこうした声を真摯に受け止める必要がある。こうした具体的な声を掴んでいるのか。

**答弁**：バスの増便や、バス停が近くにないことで不便であるといったご意見があることは認識している。引き続き、アンケート調査を実施し、地域ごとの意見なども踏まえた中で、外出支援制度全体の効果検証を進めていく。

### 【市長の考えは？】

**質問**：高齢化という「待ったなし」の状況を踏まえて、地域公共交通の検討と併せて、山手地域などで外出に困っている高齢者などの移動手段の確保について、ICカードの補助などの方法以外にも検討する必要があるが、市長の考えは？

**答弁**：ゆうゆうバス廃止反対の約1万の署名が集まった時、なぜか私市山手地区としては反対運動を途中やめてしまった事実がある。そして、その事実を地域住民の方々で「存じない方も多い。」

しかし、区長制度を敷く市としては、一旦過去の経緯も含め地域として整理し、地域住民に説明された上で、地区として要望すべきだ。その声については、しっかり受け止め実現を図っていきたい。

INFORMATION

議会報告会お知らせ

7/16(日)

14:00～

私市山手自治会館

6月議会一般質問で取り上げた、「私市山手地域の公共交通・外出支援の課題と解決」についてを中心に報告と意見交換を行います。どなたでも、お気軽にお越しください。